

平成26年度 成年後見制度に関する実態把握調査結果

平成26年9月

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会

《 も く じ 》

- 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

- 平成 26 年度新潟県における成年後見事件に関する実態把握調査の結果・・・・3

- 平成 26 年度成年後見制度利用支援事業等に関する実態把握調査の結果・・・14

- 平成 26 年度社協における法人後見事業等に関する実態把握調査の結果・・・・24

調査の概要

(1)目的

県内における成年後見制度の取組み状況の把握。

(2)実施主体

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会

(3)調査の種類、目的、対象等

①平成26年度新潟県における成年後見事件に関する実態把握調査

目的	新潟家庭裁判所において取り扱う成年後見事件の状況把握
対象	新潟家庭裁判所(1か所)
実施方法	郵送による送付とファクスによる回収
回収率	100%

※平成20年～24年のデータは平成25年度に実施した「成年後見事件に関する実態把握調査」の結果を使用。

②平成26年度成年後見制度利用支援事業等に関する実態把握調査

目的	新潟県内における成年後見制度利用支援事業等の実施状況の把握
対象	新潟県内の全市町村(30市町村)
実施方法	メール・郵送による依頼及び回収
回収率	100%

③平成26年度社協における法人後見事業等に関する実態把握調査

目的	新潟県内の市町村社会福祉協議会における法人後見事業等への取組み状況の把握
対象	法人後見事業を実施している新潟県内の市町村社会福祉協議会(5社協)
実施方法	メール・郵送による依頼及び回収
回収率	100%

(4)調査期間

平成26年5月～6月

(5) 調査結果の概要

① 平成 26 年度新潟県における成年後見事件に関する実態把握調査の結果について

- 平成 25 年に成年後見等が申し立てられた件数は 845 件で年々伸びている。(前年比 105 件、約 14%の増)
- 平成 25 年の首長申立件数は 47 件でわずかに増加傾向にある。(前年比 3 件、約 7%の増)
- 成年後見人等と本人との関係別選任件数では、平成 25 年に第三者後見人^{※1}の選任数が親族後見人^{※2}の選任数を上回った。(第三者後見人の選任数は平成 20 年と比較して 261 件、約 244%の増)

② 平成 26 年度成年後見制度利用支援事業等に関する実態把握調査の結果について

- 成年後見制度利用支援事業(申立て費用及び後見等報酬の助成)を実施している 29 市町村のうち、半数以上の市町村(17 市町村)が助成対象者を「首長申立て」に限定している。

また、平成 25 年度における申立て費用の助成については 19 市町村で、後見等報酬の助成については 14 市町村で予算未執行である。

- 首長申立てについて、平成 25 年度において 12 市町村で合計 53 件の申し立てがあった一方で、18 市町村で申立実績がない。
- 市民後見人推進事業(類似事業含む)を実施している又は平成 26 年度から実施予定の市町村が 4 市町村(前年度 3 市町村)、成年後見制度法人後見支援事業(類似事業含む)を実施している又は平成 26 年度から実施予定の市町村も 4 市町村(前年度 3 市町村)となっている。

③ 平成 26 年度社協における法人後見事業等に関する実態把握調査の結果について

- 法人後見事業を実施している 5 社協の合計受任件数は 51 件。(前年同期比 31 件、155%増)
- 上記 5 社協のうち、4 社協において市町村から「普及啓発」や「相談支援」等の成年後見制度関連事業を受託実施している。

※1:「第三者後見人」とは、親族以外(弁護士・司法書士・社会福祉士・社会福祉協議会等)で本人の成年後見人等に選任された者の総称。

※2:「親族後見人」とは、親族(配偶者・子・兄弟姉妹等)で本人の成年後見人等に選任された者の総称。

平成26年度 新潟県における成年後見事件に関する実態把握調査の結果

【調査概要】

目的	新潟家庭裁判所において扱う成年後見事件の状況把握
対象	新潟家庭裁判所 (新潟家庭裁判所本庁、三条支部、新発田支部、長岡支部、高田支部、佐渡支部、十日町出張所)
調査時期	平成26年5月15日から6月20日
調査方法	郵送による送付とファクスによる回収
発送数	1
回収数	1

※ 本資料における平成20年から平成24年までのデータは、平成25年度に実施した「成年後見事件に関する実態把握調査」の結果を使用。

【定義】

成年後見人等	成年後見人、任意後見人、保佐人、補助人の総称
成年被後見人等	成年被後見人、任意被後見人、被保佐人、被補助人の総称
親族後見人	親族(配偶者、親、子、兄弟姉妹、その他親族)で本人の成年後見人等に選任された者の総称
第三者後見人	親族以外(弁護士、司法書士、社会福祉士、その他※)で本人の成年後見人等に選任された者の総称

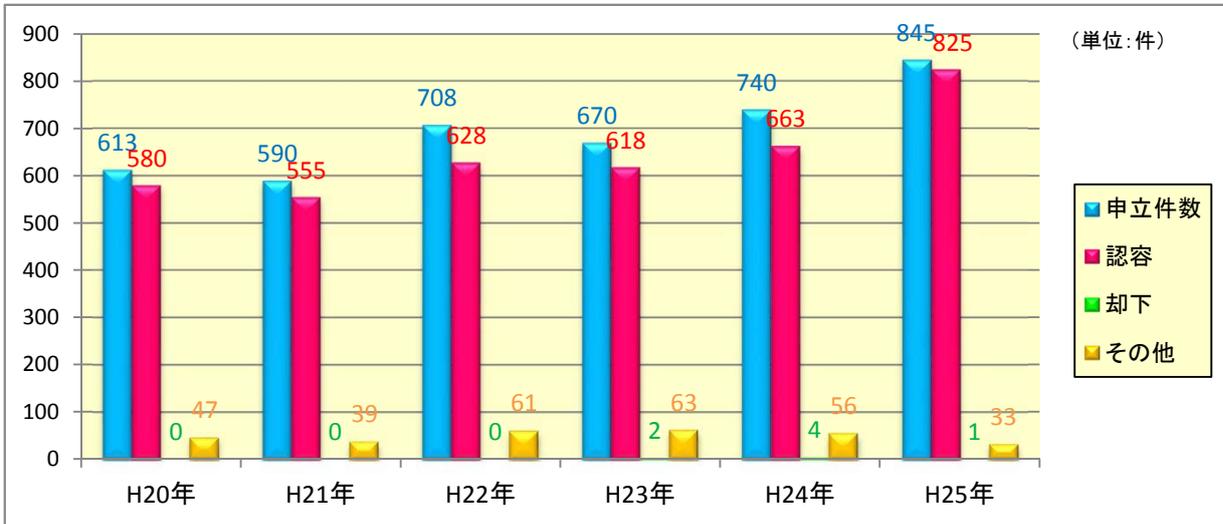
※ 「その他」には、社会福祉協議会、税理士、行政書士、精神保健福祉士、市民後見人、その他法人、その他個人が含まれる。

【新潟家庭裁判所支部別の管轄市町村】

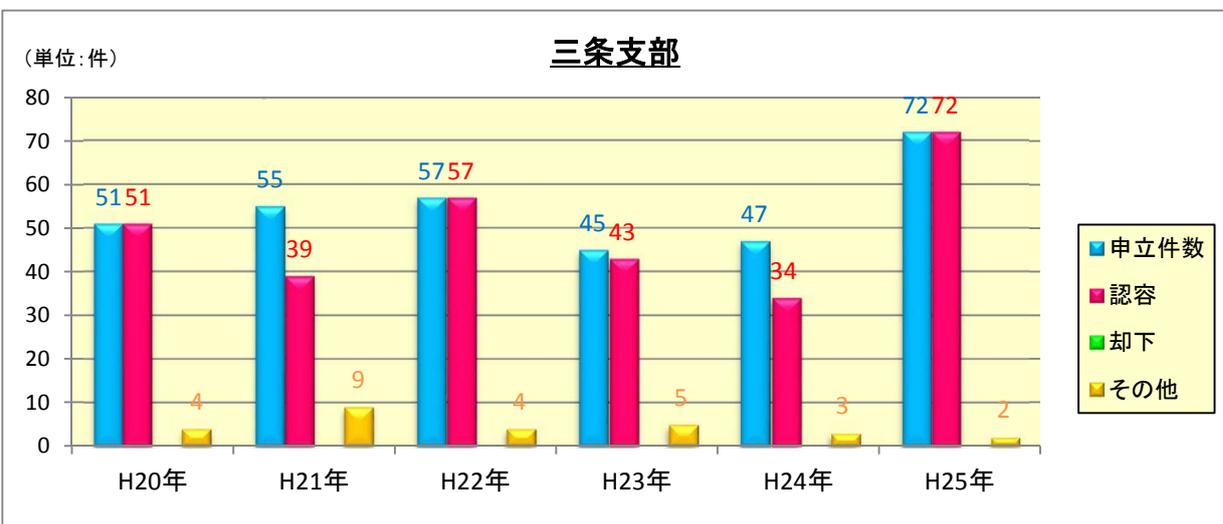
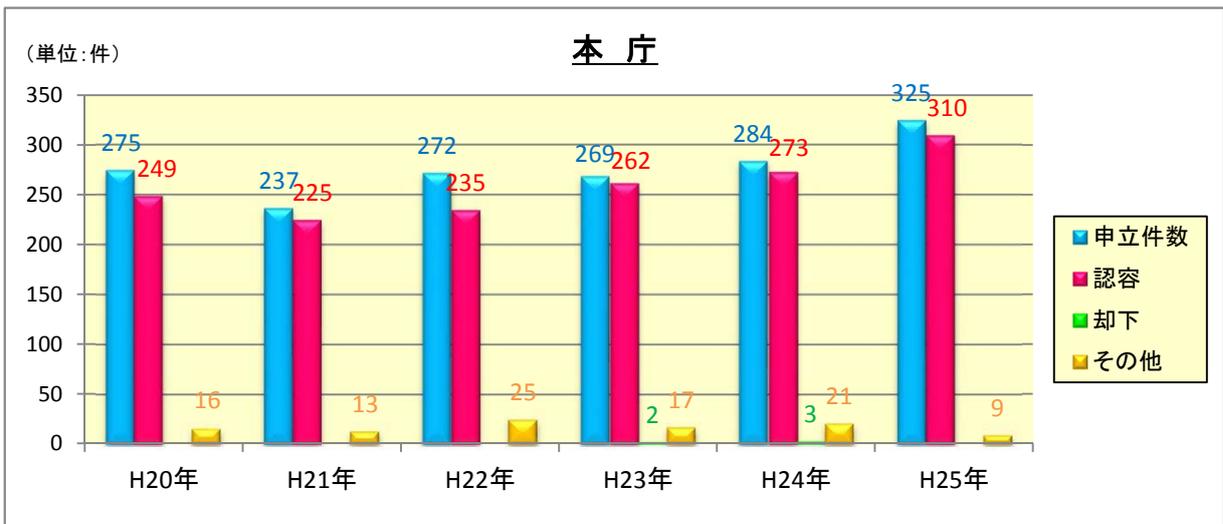
新潟家庭裁判所本庁	新潟市、燕市(旧吉田町)、五泉市、阿賀町、弥彦村
三条支部	三条市、加茂市、燕市(旧燕市、旧分水町)、田上町
新発田支部	新発田市、村上市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村
長岡支部	長岡市、柏崎市、小千谷市、見附市、魚沼市、南魚沼市、出雲崎町、湯沢町、刈羽村
高田支部	上越市、糸魚川市、妙高市、十日町市(旧松代町、旧松之山町)
佐渡支部	佐渡市
十日町出張所	十日町市(旧十日町市、旧川西町、旧中里村)、津南町

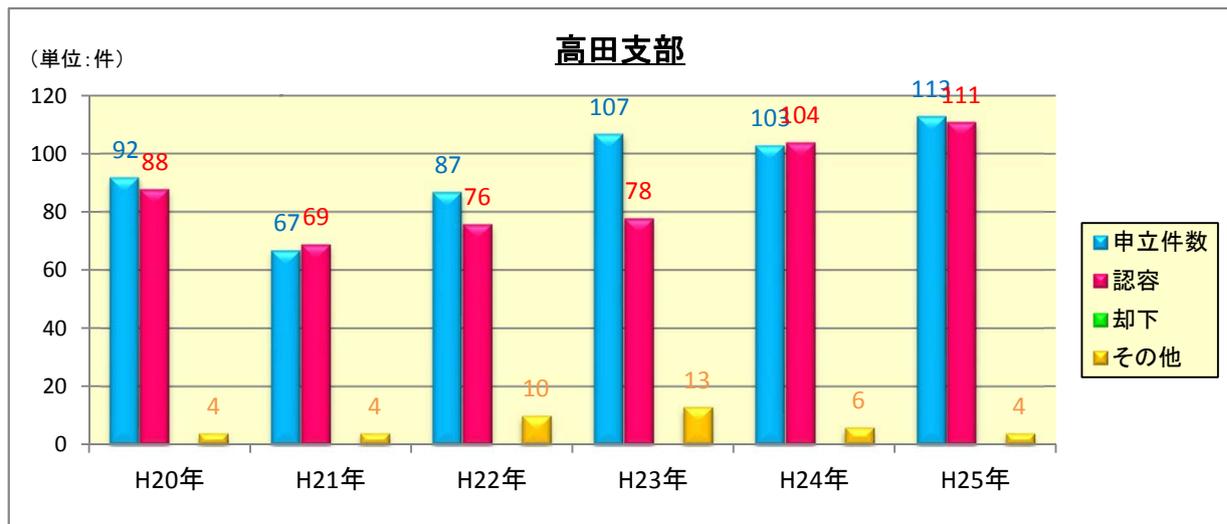
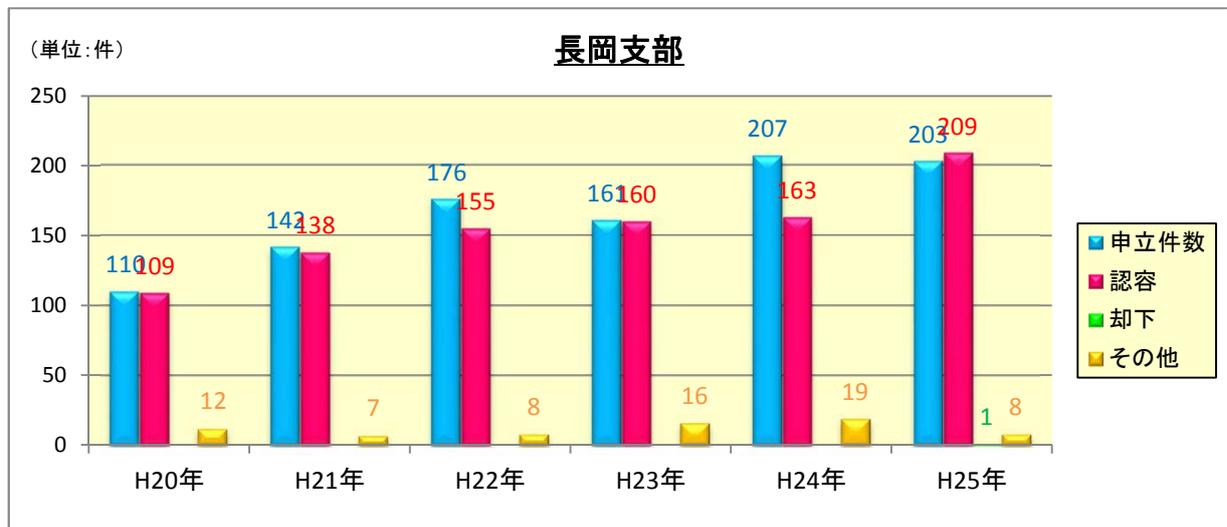
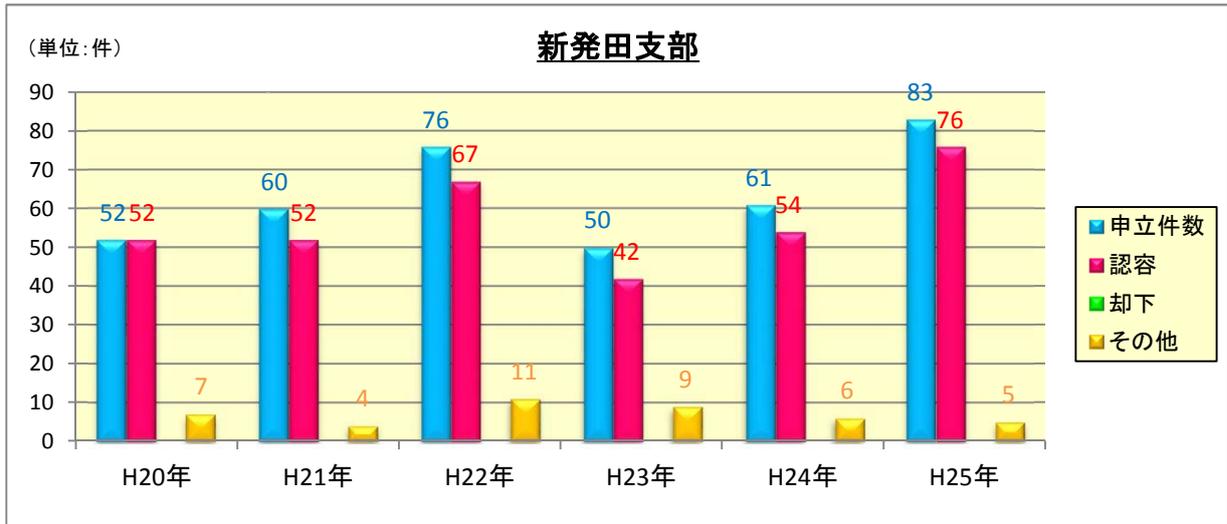
1 成年後見等が申し立てられた件数及び終局区分別件数の推移

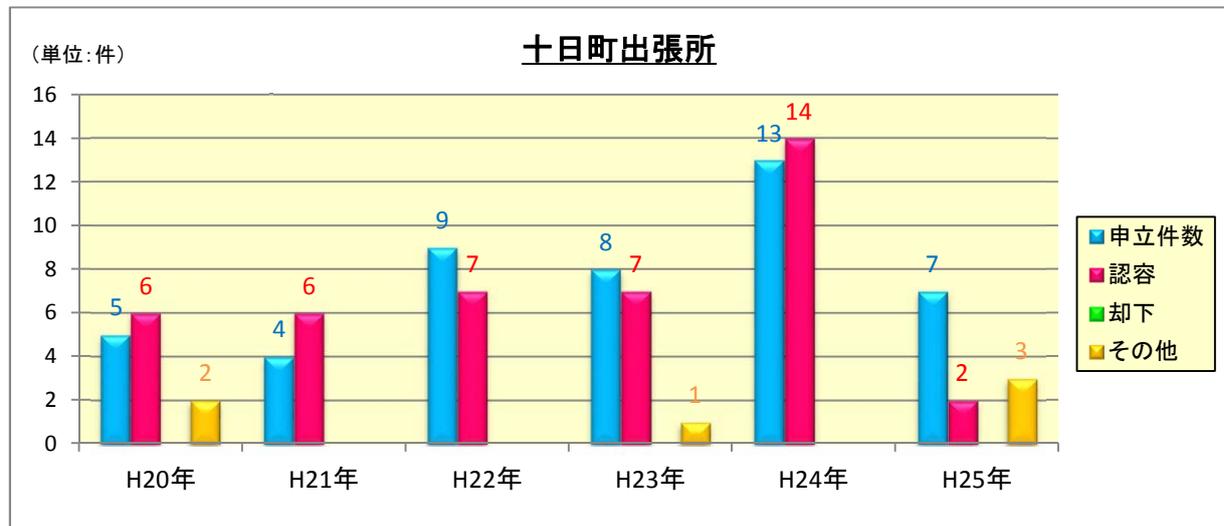
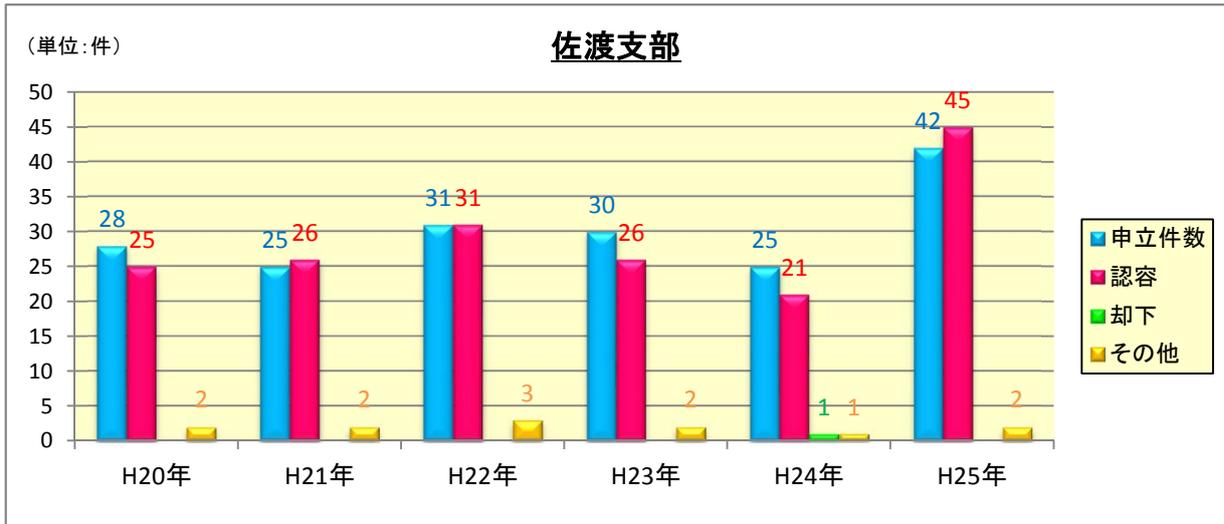
- 成年後見等の申立件数は平成20年が613件だったのに対し、平成25年が845件となっており、平成20年と比べて約38%増えている。また、そのことに伴い、認容件数も増えている。
- 平成25年の申立件数を本庁・支部・出張所別にみると、本庁が325件と一番多く、次いで長岡支部が203件、高田支部が113件、新発田支部が83件、三条支部が72件、佐渡市支部が42件、十日町出張所が7件となっている。



《本庁・支部・出張所別件数》

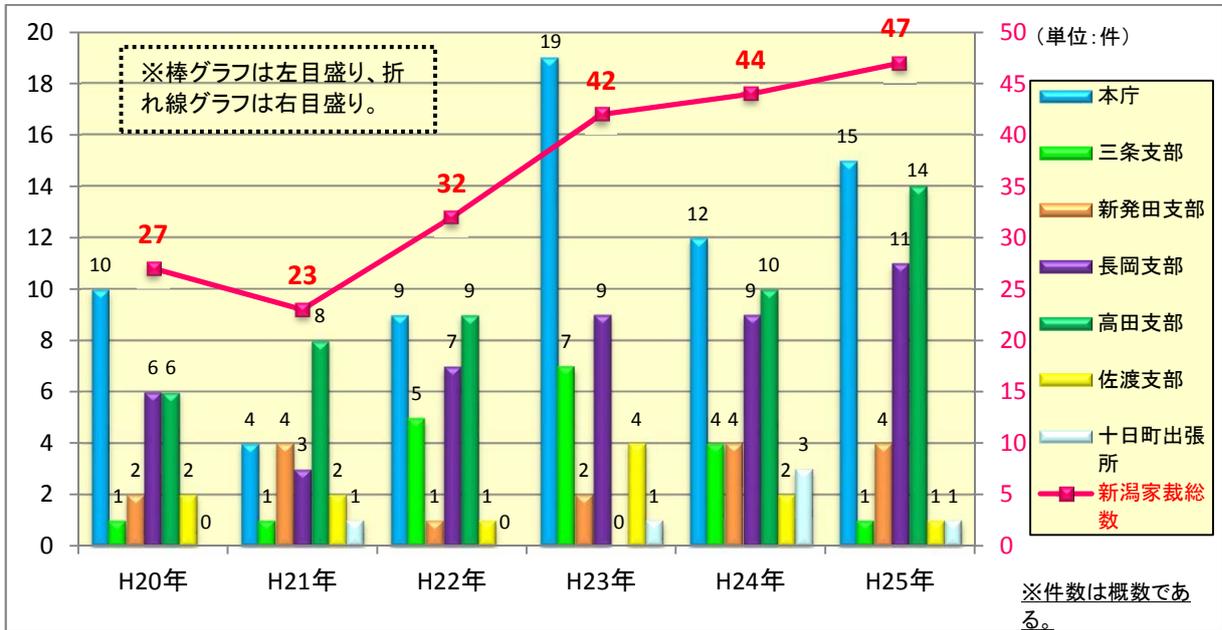






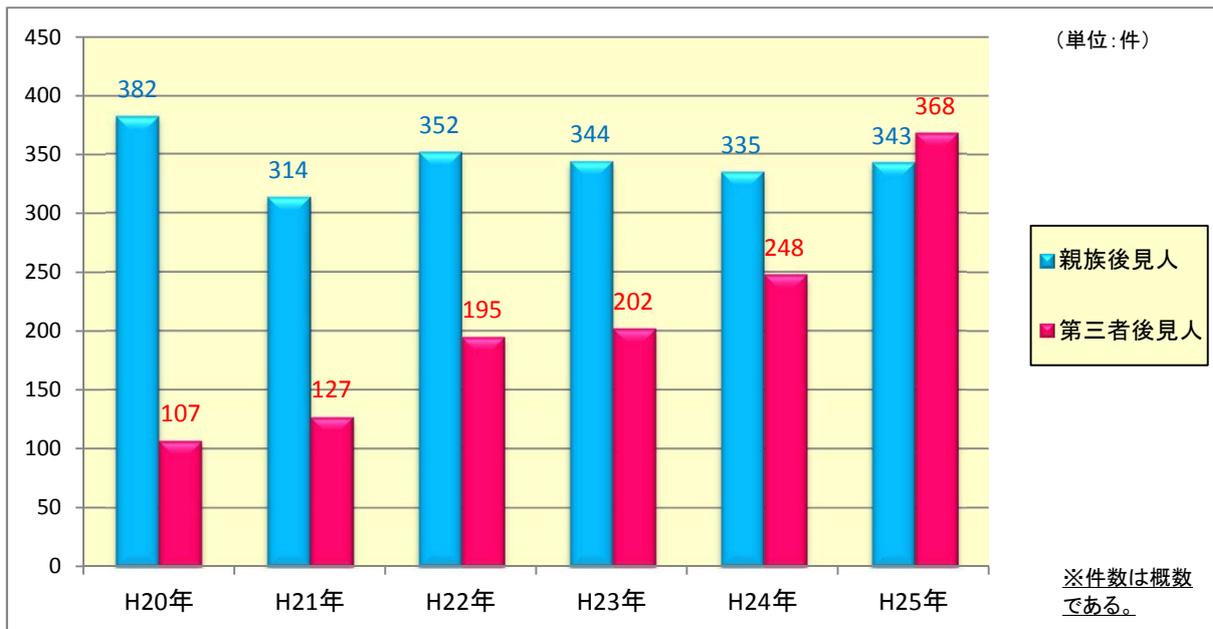
2 首長申立件数の推移

- 首長申立の件数は平成20年が27件だったのに対し、平成25年は44件となっており、平成20年と比べて約74%増えている。
- 平成25年の首長申立件数を本庁・支部・出張所別にみると、本庁が15件と一番多く、次いで高田支部が14件、長岡支部が11件、新発田支部が4件、三条支部、佐渡支部、十日町出張所がそれぞれ1件となっている。

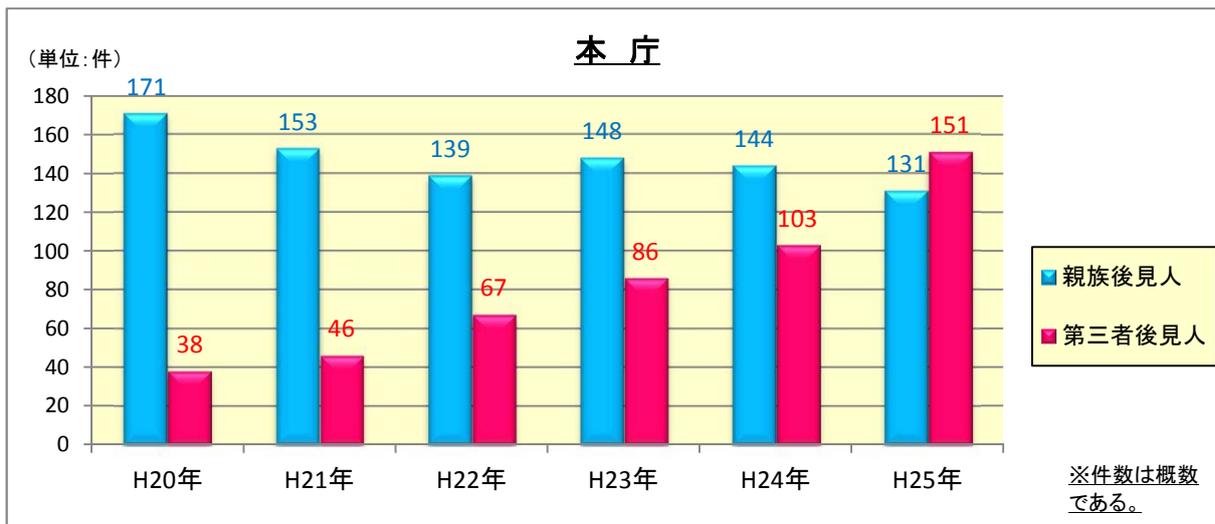


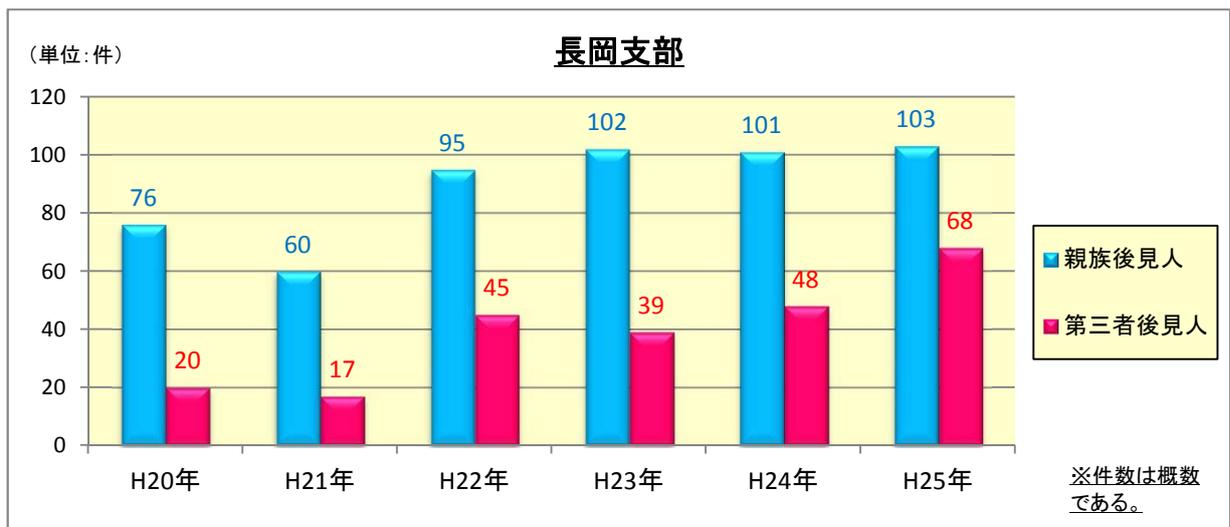
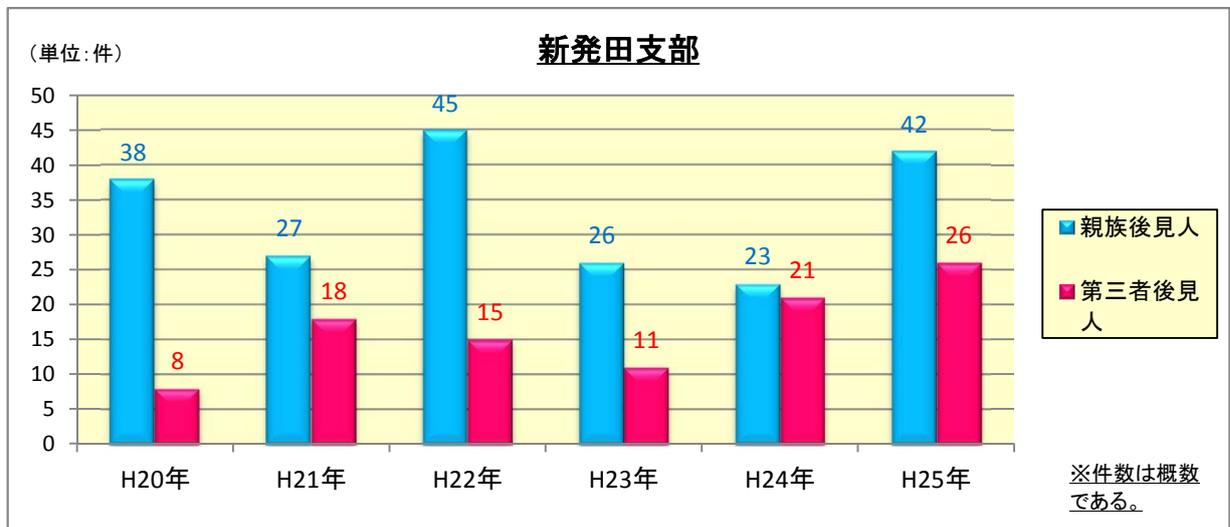
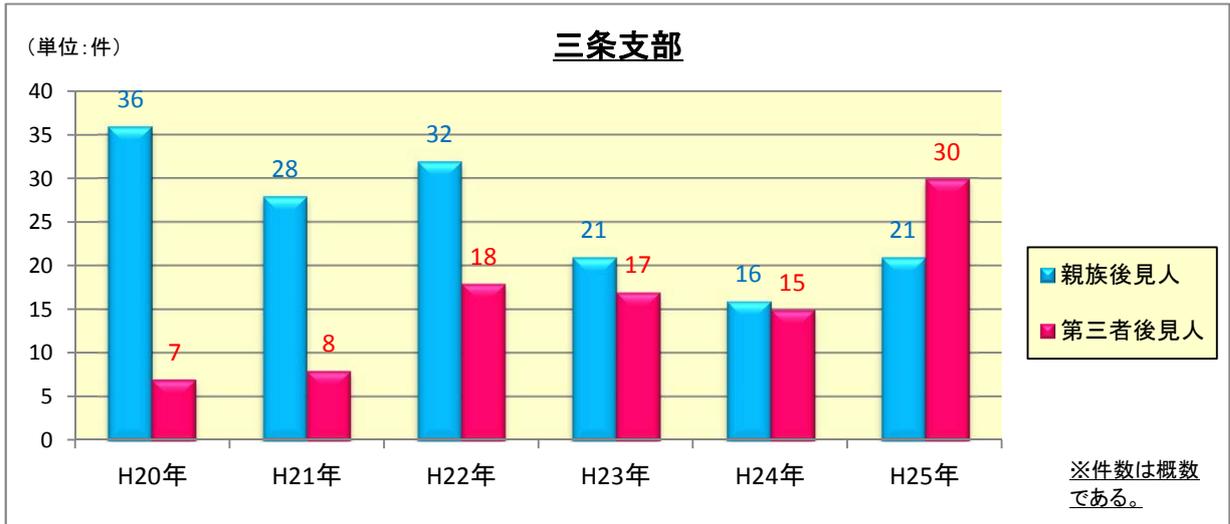
3 成年後見人等と本人との関係別件数の推移

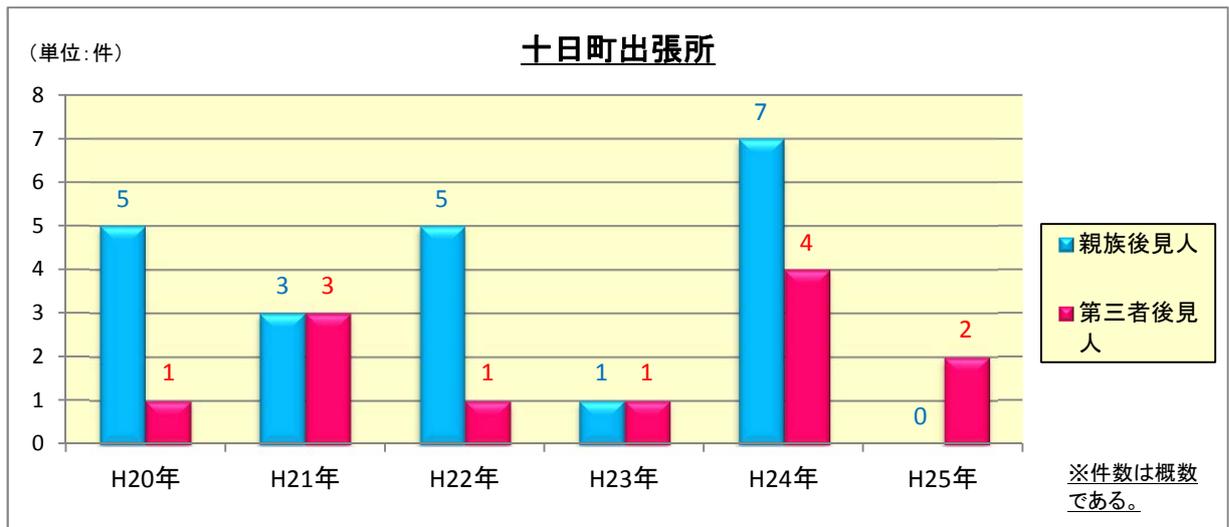
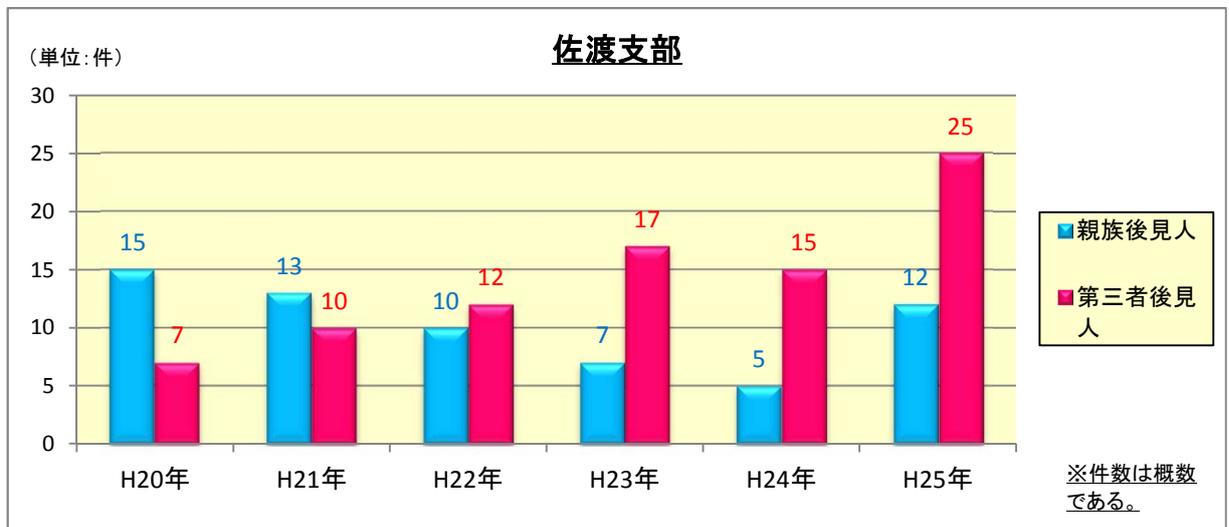
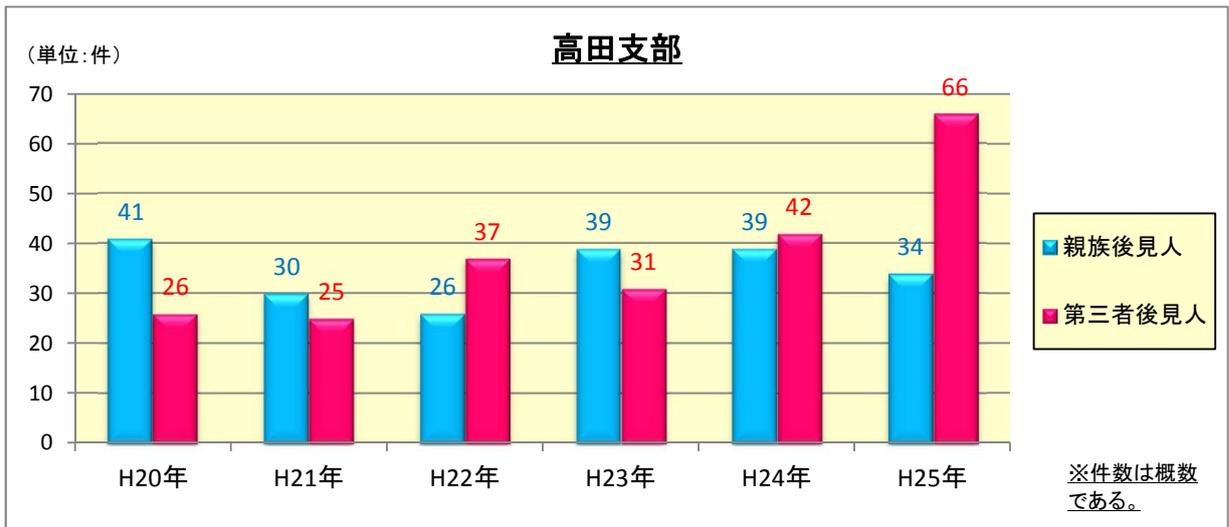
- 平成20年は親族後見人の選任数が382件、第三者後見人の選任数が107件であったのに対し、平成25年には親族後見人の選任が343件、第三者後見人の選任数が368件と、第三者後見人の選任数が親族後見人の選任数を上回った。
- 平成25年の成年後見人等と本人との関係別件数を本庁・支部・出張所別にみると、本庁【親族後見人:131件／第三者後見人:151件】、三条支部【親族後見人:21件／第三者後見人:30件】、新発田支部【親族後見人:42件／第三者後見人:26件】、長岡支部【親族後見人:103件／第三者後見人:68件】、高田支部【親族後見人:34件／第三者後見人:66件】、佐渡支部【親族後見人:12件／第三者後見人:25件】、十日町出張所【親族後見人:0件／第三者後見人:2件】となっており、7か所のうち5か所で第三者後見人の選任数が親族後見人の選任数を上回った。
(※本庁・支部・出張所ごとに親族後見人と第三者後見人の選任数を比較して多い方に下線を引いた。)



《本庁・支部・出張所別件数》

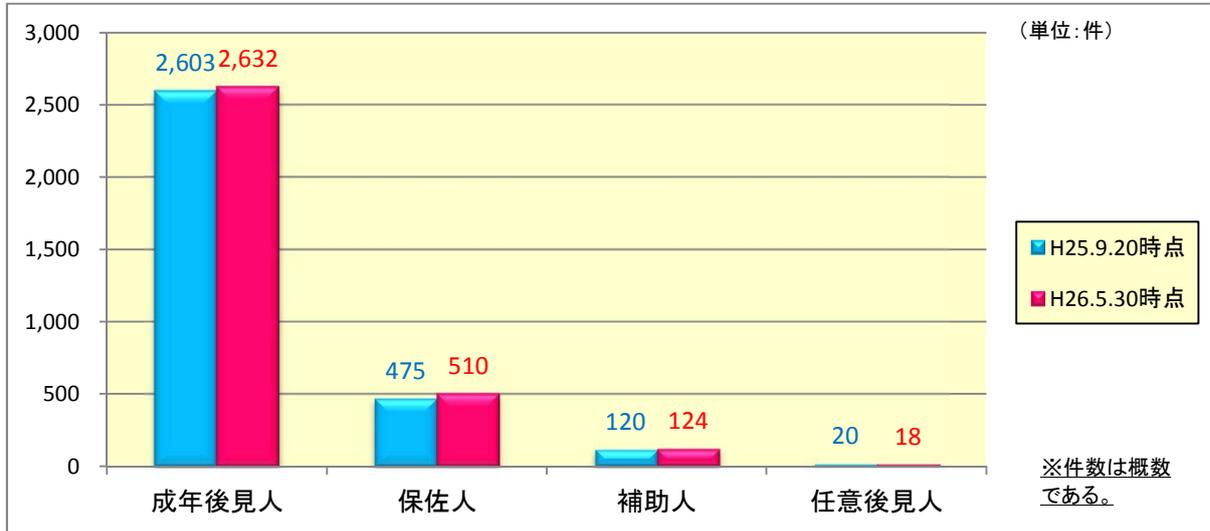






4 現に成年後見人等が選任されている件数(平成26年5月30日時点)

- 平成26年5月30日時点の成年後見人等の選任総数は3,284件となっており、そのうち、成年後見人が2,632件、保佐人が510件、補助人が124件、任意後見人が18件となっており、選任類型としては成年後見人が圧倒的に多くなっている。
- 平成26年5月30日時点の成年後見人等の選任総数を本庁・支部・出張所別にみると、本庁が1,320件と一番多く、次いで長岡支部が818件、高田支部が473件、新発田支部が259件、三条支部が240件、佐渡支部が132件、十日町出張所が42件となっている。



《本庁・支部・出張所別件数》

